



2015.2.25 毎日新聞

戦隊「まもるんジャー」 免疫の仕組み寸劇で 北大教授ら園児に熱演

悪の幼稚園に免疫戦隊「まもるんジャー」がやってきた。免疫を研究する北海道大の教授や大学院生らが24日、忍び込んだウイルスを体が退治する詳しい仕組みを、園児にも分かりやすく伝える劇を披露した。



幼稚園児たちに劇を披露する北海道大の大学院生ら＝札幌市北区で

園児への免疫戦隊ヒーロー「まもるんジャー」が、ウイルスや細菌、カビなどの悪役「ばちちーまん」をさまざまな技で倒していくストーリーだ。司令官役は遺伝子病制御研究所の高岡晃教授（47）。他のキャスト、衣装や音響といった裏方も学生が支える。

悪の細菌から 体を守れ

子供たちに人気の戦隊ヒーローがウイルスや細菌を退治する姿を通して、免疫の仕組みを分かりやすく伝える劇を、北大遺伝子病制御研究所の高岡晃教授らが24日、札幌市北区の市立白楊幼稚園で初めて披露した。

観客は幼稚園の4～6歳児70人。劇は約30分間。ウイルスや細菌などの悪役「ばちちーまん」と免疫戦隊「まもるんジャー」の闘いを描き、高岡教授も戦隊の司令官役で登場した。ウイルスに対して菌が抗体に見立てたボールを投げた。ウイルスに感染した細胞に菌の武器「ビリビリ棒」を使ったり、さまざまな技を駆使して倒す姿を表現した。エクスウィルス、日よけについても司令官役がやっつけられ、指示役がいなくなり、まもるんジャーが何もできなくなる展開した。劇は普段目に見えないミクロの世界を知ってもらいたい、うがいや手洗いの大事を知ってもらおうと企画。ウイルスや細菌の登場場面ではまだ幼稚園児もいるが、高岡教授は「軍医は大学で学ぶのが難しい内容だが理解してくれたのでは」として、希望があれれば別の幼稚園でも上演する考えだ。

札幌の幼稚園で戦隊劇

北大教授ら「免疫の仕組み」熱演

免疫は体を守るヒーロー - 読んで見フォト - 産経フォト

ニュース

免疫は体を守るヒーロー

2015.2.24 13:55



幼稚園児たちに劇を披露する北海道大の大学院生ら＝24日午後、札幌市北区



僕らの幼稚園に免疫戦隊「まもるんジャー」がやってきた！ 免疫を研究する北海道大の教授や大学院生らが24日、忍び込んだウイルスを体が退治する詳しい仕組みを、園児にも分かりやすく伝える劇を披露した。

劇が披露されるのは札幌市北区の白楊幼稚園。昼食を終えた園児の前に現れるのは司令官と3人の戦隊ヒーロー。ウイルスや細菌、カビなどの悪役「ばちちーまん」をさまざまな技で倒していくストーリーだ。

司令官役は遺伝子病制御研究所の高岡晃教授（47）。他のキャスト、衣装や音響といった裏方も学生が支える。

高岡教授いわく「正義の味方がただ悪役を倒すわけではないのがこだわり」。例えば体内の「キラーT細胞」がウイルスに感染した細胞を見つける際に使う物質を「ビリビリ棒」という武器で表現した。実は、大学で学ぶレベルの内容という。

この写真がすごい！

その他の報道：東京新聞、京都新聞、中日新聞、上毛新聞、佐賀新聞、長崎新聞、西日本新聞、徳島新聞、福井新聞、静岡新聞、山形新聞、千葉日報、新潟日報、四国新聞社、河北新報、47NEWS、ニコニコニュース、gooニュース、liverdoor NEWS、exciteニュースなど、